

これまでの審議会でいただいた主なご意見

● 水道施設の更新について

- ① 水道は、市民生活や事業活動に不可欠な社会基盤であり、今後も安定した供給を持続するため、老朽施設の更新や耐震化を計画的に進めてほしい。
- ② 適切な維持管理により施設の長寿命化を図るとともに、資産管理の精度を高め、施設更新に係る費用を適切に見積った上で、必要な施設の更新を進めてほしい。
- ③ 災害や老朽化などにより水道施設が甚大な被害を負う例が全国的に見られることから、施設更新などの時期を捉え、重要施設の耐震化を進めてほしい。

● 水道料金について

- ④ 一定の負担増はやむを得ないが、料金改定の時期や水道事業の財政状況を示しながら、市民の不安解消に努めてほしい。
- ⑤ 新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の縮小、失業の増加などに伴う生活困窮者も増えているため、できる限り値上げ幅の抑制に努めてほしい。
- ⑥ 可能な限り水道の未接続を解消し、適切な料金収入の確保に努めてほしい。また、水道料金は、4～5年間は据え置きとし、必要に応じて定期的に見直すようにしてほしい。

● 広報、情報提供について

- ⑦ 水道管の長さや給水区域の面積など、水道事業の経営環境を分かりやすく市民にお知らせしてほしい。
- ⑧ 塩素消毒していることを含め、水道水の安全性についても広く市民への周知に努めてほしい。
- ⑨ 新聞報道等と連携し、水道に関する情報を市民が目にする機会を増やすとともに、民間委託などによる経営健全化の取り組みをPRし、水道事業に対する市民の理解が深まるよう努めてほしい。

● その他、水道事業経営について

- ⑩ 財政が今以上に逼迫して施設が更新できなくなってから料金を大幅に引き上げるようなことのないよう、ある程度先を見据えて適切な財源の確保に努めてほしい。
- ⑪ 漏水の調査や水道管の更新を進め、有収率の向上に努めてほしい。
- ⑫ 厳しい経営環境に対応するため、施設規模の縮小や統廃合を進めるなど、建設や維持管理のコスト削減に努めてほしい。